

つまり、 デフレからの脱却

(=国内景気回復□ グローバルインバランス是正) のためには、

政府による需要拡大

(=ニューディール政策)

が不可欠！

※例えば、1929大恐慌時のルーズベルトや高橋是清、

そして、リーマンショック後の日本**以外**の諸外国、等。

※無論、「適切な**金融政策**」(**金融緩和**)を同時に行うことが必要。

※あわせて、「内需流出」をもたらす**過剰な自由貿易は控えるべき**。

自由貿易化□ グローバルインバランス是正はデフレ脱却の**後**にすべき。

略歴：藤井聡（ふじい さとし）

- ▶ 1968年生まれ。京都大学工学部 土木工学科卒業、東京工業大学教授等を経て現在京都大学 都市社会工学専攻教授
- ▶ 専門：土木計画学（社会科学に基づく土木政策論）
 - ※ 拙著教科書「土木計画学」にて経済学、心理学、社会学、政治学、社会学に基づく政策論をとりまとめ。
- ▶ 著書『公共事業が日本を救う』『正々堂々と公共事業の雇用創出効果を論ぜよ』『土木計画学』『社会的ジレンマの処方箋』等
- ▶ 学位論文：行動計量経済学アプローチに基づく需要解析
- ▶ 受賞：計量経済分析研究で、
 - ・土木学会論文奨励賞、
 - ・米谷・佐々木賞社会心理学・社会学研究で、
 - ・社会心理学会奨励論文賞
 - ・土木学会論文賞
 - ・文部科学大臣表彰
 - ・日本學術振興會賞 等を受賞

略歴： 中野剛志（なかのたけし）

1971年生まれ。1996年東京大学教養学部教養学科(国際関係論)卒業後、通商産業省(現・経済産業省)に入省。

2000～2003年、英国エディンバラ大学大学院に留学し、2005年に博士号(社会科学)取得。2003年イギリス民族学会(ASEN)賞受賞。

新エネルギー対策課課長補佐、産業構造課課長補佐等を経て、2010年6月より、京都大学工学研究科助教（藤井聡研究室）。

主な著作は、

『国力論－経済ナショナリズムの系譜』（以文社）

『経済はナショナリズムで動く－国力の政治経済学』（PHP）

『恐慌の黙示録－資本主義は生き残ることができるのか』（東洋経済新報社）

『自由貿易の罠－覚醒する保護主義』（青土社）

『考えるヒントで考える』（幻戯書房）

最新刊(編著)は、

『成長なき時代の「国家」を構想する－経済政策のオルタナティブ・ヴィジョン』（ナカニシヤ出版）

3月中旬に集英社新書より『TPP亡国論』を刊行予定。